

人間文化研究科 応用英語専攻

●入学者受入れ方針（アドミッションポリシー）

〔学ぶ内容および特色〕

人間文化研究科は広い教養を培い、人格を高めつつ、人間を対象とした人間が作り出した文化の知的研究・実践的研究を行い、社会で活躍できる、より高度な専門知識をもった人材養成の場となっています。応用英語専攻では、英語を生かした国際的な交流活動、英語教育活動などにおいて、専門的な活動を行える知識・技術・応用力を習得させる教育を目指しています。特に、以下のような学生の入学を期待します。

〔入学を期待する学生像〕

1. ことばとしての「英語」に興味があり、より専門職としての英語力を身につけたい人。
2. 英語力があり、英語圏文学・文化、英語学、コミュニケーション、英語教育、国際理解のどこかの分野で基礎的知識を有し、研究課題を見つけ真摯に研究できる人。
3. 英語教師をしていて、教員としての実力を高め、専修等の免許取得を目指す人。
4. ホスピタリティや英語でのコミュニケーション力を身につけ、国際的な場面で活躍を目指す人。
5. 社会人で長期履修制度を利用して、専門的知識や技術を習得し、じっくり専門性を深めたい人。

●教育課程編成・実施方針（カリキュラムポリシー）

人間文化研究科応用英語専攻では、「グローバル化社会で求められる高い英語力と高度な専門性を要する職業に就くために必要な能力の育成」という教育目標の実現のため、「英語圏文学・文化」、「英語教育」、「言語学（英語学）・コミュニケーション学」の3領域を設置し、以下のようなカリキュラムを編成して教育を行っています。

1. 効果的に専門性の習得を実現するため、「基礎科目」「専門科目」「演習科目」「研究指導科目」を設置しています。
2. 「基礎科目」では、(a) 各領域で必須となる研究方法論の習得と、(b) 国際社会で自身の専門性を発揮するために必要となる英語運用能力の習得を行います。
3. 「専門科目」では、「英語圏文学・文化」、「英語教育」、「言語学（英語学）・コミュニケーション学」それぞれの領域における高度な専門性を涵養し、また、研究者・教育者・実践家として必要な技術の習得を行うための科目を配置しています。
4. 「演習科目」では、修士論文執筆のための個別指導を行い、個別の研究課題に基づいた研究方法論と専門知識の習得を重点的に行います。
5. 「研究指導科目」では、研究指導教員が修士論文執筆を個人指導します。同時に、研究

指導補助教員が協力して複数指導体制を構築し、専攻内で研究発表や討議を行うことで、修士論文の執筆と口頭試問での答弁、さらには学会等での研究発表の技術を養います。

また、応用英語専攻では、中学校・高等学校の英語科専修免許の取得が可能です。

●学位授与方針（ディプロマポリシー）

人間文化研究科応用英語専攻では、「グローバル化社会で求められる高い英語力と高度な専門性を要する職業に就くために必要な能力の育成」という教育目標を達成し、以下の能力を身につけた学生に学位を授与します。

1. 英語力：自身の専門領域における研究・教育・実践活動を国際社会において英語で遂行する能力
2. 教養：英語圏文学・文化、言語としての英語、言語（異文化間）コミュニケーション等に関する幅広い知識と理解
3. 専門性：応用英語専攻3領域（「英語圏文学・文化」「英語教育学」「言語学（英語学）・コミュニケーション学」）いずれかにおける専門性の高い研究遂行能力ならびに実践家としての能力

応用英語専攻では、上記の能力の習得を総合的に評価するために英語による修士論文執筆と口頭試問を課し、これに合格した学生に学位を授与します。